



助け合いを柱に、全国的に活動を展開

特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ(ナルク)

「自立」「奉仕」「助け合い」をモットーに社会参加と市民相互扶助の精神に基づいて、高齢社会にふさわしい地域社会づくり推進に関する事業を行いながら、社会全体の利益と福祉の増進に寄与することを目的としています。

1994年4月にWACアクティブクラブとして設立し、1998年5月にニッポン・アクティブライフ・クラブに改称。北は北海道から南は鹿児島まで106の拠点を持つなど、全国ネットで活動を展開しています。会員は約2万人を数えます。

主な活動としては、▽経験、特技、能力を活かした社会貢献活動及び高齢者の支援や介護・介助サービス▽少子化対策としての子育て支援▽社会参加、ボランティア活動への積極的参加とその普及▽長寿社会におけるコミュニケーションのあるまちづくり、地域づくりへの協力や自治体などに対しての地域政策提言▽長寿社会の活性化と中高年の健康づくり、社会参加及びその社会的地位の向上のための取り組み▽必要な調査研究、情報収集や提供、啓発の普及や研修 ― などの事業を実施しています。

特徴的なノウハウとして、時間預託システムがあります。会員相互の助け合いボランティア活動で、サービスを提供した時間を1時間1点として団体に時間預託(貯金)しておき、自分がサービスを必要

になったとき預託した点数を引き出し、全国の拠点のあるところではどこでも無料でサービスを受けられる制度です。庭の手入れ、住宅の修繕、通院等の送迎、家事援助、話し相手、介助・介護など、活動の内容も多彩です。

高畑敬一会長は「これからも、ボランティアによる双方向の助け合いを柱として、時間預託システムの定着を図りながら、全国的に活動を充実・発展させていきたいと考えています」と話しています。



事務所で活動する会員のみなさん

〒540-0028
大阪市中央区常磐町2-1-8 親和ビル4階
TEL 06-6941-5448 FAX 06-6941-5130
<http://nalcj.jp>
E-mail : info@nalcj.jp

そぞろ

10

2004.9*No.10



おおさかヒューマンフェスタ2004 in まつばら いのち ~「たったひとつのたからもの」~

生命保険会社のテレビCMで話題になり、昨年出版されたフォトエッセイ「たったひとつのたからもの」。重度の心臓病で生後まもなく余命1年と診断された秋雪君の6年2ヶ月の記録。この本の朗読と写真の映写、ピアノ演奏を通して、いのちの大切さ、生きるということ、共に感じ、考えたいと思います。参加費は無料です(ただし事前申込が必要)。皆さんの参加をお待ちしています。

日時 12月4日(土)午後2時~4時
会場 松原市文化会館
松原市田井城1-3-11
(近鉄南大阪線「河内松原」駅下車約700m)

内容 「たったひとつのたからもの」(著者:加藤浩美さん、発行:文芸春秋)の朗読と写真の映写、ピアノ演奏で綴るひととき
・朗読は俳優の本上まなみさん
・演奏はピアニストの村松健さん

問合せ (財)大阪府人権協会人権啓発部
TEL 06-6568-2983

